

組織

公益社団法人 日本技術士会 長野県支部組織図

平成27・28年度

支部役員会	
支部長	小口 雄平
副支部長	高橋 賢士
"	牧垣 壽志
"	溝口 豊
会計幹事	有賀 良夫
"	臼田 裕一
幹事	宇井 經雄
"	剣持 淳二
"	小林 雄二郎
"	塩沢 一久
"	中島 正道
"	中村 勤
"	平林 正守
"	森 多毅夫
"	山浦 直人

長野県支部部門別会員数構成表 (平成27年3月31日現在)			
会員数			
No.	技術部門	正会員	準会員
1	機械部門	13	12
2	船舶・海洋部門	0	0
3	航空・宇宙部門	0	1
4	電気電子部門	9	10
5	化学部門	1	1
6	繊維部門	0	0
7	金属部門	5	1
8	資源工学部門	0	0
9	建設部門	78	24
10	上下水道部門	12	5
11	衛生工学部門	1	0
12	農業部門	9	2
13	森林部門	10	0
14	水産部門	0	0
15	経営工学部門	6	0
16	情報工学部門	4	4
17	応用理学部門	15	2
18	生物工学部門	1	2
19	環境部門	7	3
20	原子力・放射線部門	0	0
21	総合技術監理部門	38	1
部門別の合計数		209	68
正会員数		150	58

注1:複数部門の登録者・合格者等があり、部門別では重複して計上しています。
注2:準会員は、技術士第一次試験合格者、日本技術者教育認定機構(JABEE)認定課程修了者、技術士第二次試験合格者で技術士未登録の方です。



技術相談・支援にお応えします

長野県支部には、現在15部門の高等な専門的応用能力を有する技術士がおります。
技術的な相談や業務の技術的支援にお応えできるネットワークと態勢を整えております。

ぜひ日本技術士会長野県支部にお声を掛けて下さい！

公益社団法人日本技術士会 長野県支部連絡先

長野県支部事務局

〒390-0851 長野県松本市島内3481番地1 株式会社アンドー内
TEL 0263-48-0480 / FAX 0263-48-0009
E-mail: penagano@penagano.org



「大天井岳より朝焼けの槍ヶ岳」撮影：林正昭会員



長野県支部

平成27年度版

基本理念

“技術者倫理に基づき、技術士の資質の継続研鑽に努め、
地域社会に対する貢献を通して国民経済の発展に寄与する”

公益社団法人日本技術士会長野県支部として新発足

日本技術士会（昭和26年設立）は平成23年4月11日公益社団法人に移行し、新定款の発効により県支部設置が可能となりました。長野県については、県内正会員123名（平成23年3月31日現在）の中から44名（35.8%）の発議を得て、平成23年11月10日の理事会において「公益社団法人日本技術士会長野県支部」の設置を決定いたしました。

その後、幹事選出選挙、支部長選任を経て、平成24年4月22日に第1回長野県支部役員会が招集され、具体的活動を開始するに至っています。

公益社団法人日本技術士会は、「行動し発信する日本技術士会」として「社会に向けた情報発信の強化」、「技術士の活用促進」、「社会貢献活動の推進」、「国際活動の強化」を基本方針として「会員活動の充実と入会率の向上」を図るとともに指定事業の的確な運営をすることを目標に活動しています。

長野県支部においても、この方針の基に、以下の基本理念、運営方針に基づき事業を計画し実行するものであります。

運営方針

1. 支部として本会事業を円滑に実施するため、情報発信を強化し会員相互の理解を深め、連携、協調して諸活動の活性化に努めると共に、本会の事業実施の基盤となる会員の拡大に注力する。
2. 県内の官公庁始めその関連団体並びに一般企業に対して、技術士制度の普及啓発に努め、若手技術者の育成支援協力を積極的に行う。
3. 官民を問わず異分野、異業種との連携を深めて広く人的交流を図り、技術士業務の開発及び活用の促進を図る。
4. 官公庁及び関連団体に対し、科学技術に関する行政施策についての協力並びに提言を行い、調査研究等に積極的に参画する。
5. 技術士の有する技術的応用能力や知見を活かし、科学技術を通じ社会貢献活動、国際交流活動を活発に実施する。

支部長挨拶

日本技術士会長野県支部です。どうぞよろしくお願いいたします。

技術士は、科学技術に関する高等の専門的応用能力を必要とする事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価又はこれらに関する指導の業務を行う者（技術士法）で、現在、幅広く21の技術部門があります。

資源に乏しく国土が狭い日本では、科学技術の向上と利用が国づくりを進める一つの柱です。その中で、技術士が果たす役割は大きいと考えます。

技術士（補）自身が、常に継続研鑽に努めて、基礎技術を大切にするとともに、高度な応用能力と殻にとらわれない自由な思考で様々な課題の解決に当たることが重要です。

また、科学技術が社会との関わりをますます深める中で、安全・安心な社会、持続可能な社会を目指すことが求められています。行動に当たっては、技術士倫理を実践します。

そして、学生さんを含め若手技術者への助言と育成に努めるとともに、技術を持って社会に貢献する役割があります。

日本技術士会は、昭和26年に設立され、また、長野県支部は、前身の長野県技術士会の時代を経て、平成23年に日本技術士会の支部として発足しております。

広く皆様方には、技術士（補）、日本技術士会、あるいは長野県支部をご活用いただければ幸いです。

また、会員でない技術士（補）の皆さんも技術士会にご入会いただきたいと思います。

技術士（補）皆で、継続研鑽、同業種・異業種交流、若手技術者への助言・育成、技術士制度の広報、技術士活用の場の拡大を図り、社会貢献に努めていこうではありませんか。

日本技術士会長野県支部 支部長 小口 雄平



「技術士の資質向上」を目指した技術士CPD（継続研鑽）

技術士は、高等の専門的応用能力を有した技術者として、CPD（継続研鑽）に努めることが必要です。長野県支部では、長野県内のを4つのブロックに分けてCPD事業を計画しています。ぜひ、長野県支部のCPD事業にご参加してみてください。

※北信・中信・東信・南信の各地区ブロック会は、年1回以上必ず開催されます。

☆南信ブロックCPD



「グリーン・イノベーション光合成で水素や石油を生成する人工光合成生物を生み出す研究」
信州大学農学部 伊原 正喜 先生



☆中信ブロックCPD



「国宝松本城外堀を都市計画道路と併せ、掘り戻す」
講師 松本市 教育委員会 土屋松本城管理事務所長
建設部 中島城下町整備本部次長



☆東信ブロックCPD



☆北信ブロックCPD



見学会
「先端緊急医療施設見学 佐久医療センター」
講演会
「人工酵素の夢 基礎から商品化まで」
信州大学名誉教授・特任教授 白井 汪芳 先生



「信州の鉄道のあゆみ」
信州大学名誉教授 小西 純一 先生



「刎橋（はねばし）から始まる信州の橋のあゆみ」
土木・環境しなの技術支援センター理事 山浦 直人 氏

☆合格者祝賀会・CPD講演会



「昨年の災害から今思うこと～災害への対処～」
木曾建設事務所長 塩入 信一 氏

第1次、第2次合格者祝賀会